



DURATECHS
(壁)

2液弱溶剤無機塗料

●混合比

5:1

●艶

3分/5分/艶有

●容量

6/12/15.6
(kgset)



DURATECHS
ROOF (屋根)

2液弱溶剤無機塗料

●混合比

5:1

●艶

艶有

●容量

6/12/15.6
(kgset)



DA VINCI COAT
(壁)

1液弱溶剤4フッ素塗料

●艶

3分/5分/艶有

●容量

4/15 (kg)



DA VINCI COAT
ROOF (屋根)

1液弱溶剤4フッ素塗料

●艶

艶有

●容量

4/8/15 (kg)

外壁 窯業系・金属系・モルタル系塗装仕様						
■外壁 標準塗装仕様 (窯業系サイディングボードなどの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥がれ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄などで除去し乾燥した面とする。(含水率10%以下)					
下塗	KFマイルドシーラーⅡ	1	0.12～0.18	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	Dura Techs Da Vinci Coat	2	0.15～0.18	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、予めKFマイルドⅡシーラーまたは汎用シーラーを増し塗りし下地補強を行ってください。						
■外壁・金属 錆止仕様 (金属系サイディングボード、鉄部などの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で錆や剥がれ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンエポプライマーⅡ	1	0.12～0.18	塗料用シンナーA 0～5%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	Dura Techs Da Vinci Coat	2	0.12～0.18	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※旧塗膜の劣化、エッジ部はセミフロンエポプライマーⅡまたは汎用錆止め材を増し塗りして下さい。						
■外壁 微弾性フィラー仕様 (モルタル下地などの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜の脆弱部はワイヤーブラシ皮スキ等ケレン具を用いて完全に除去、除去した部分は同一模様に合わせて補修する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンフィラー	1	0.2～0.4	水道水2～5%	4時間以上3日以内	ウールローラー
			0.8～1.2	水道水0～3%	16時間以上3日以内	砂骨ローラー
上塗	Dura Techs Da Vinci Coat	2	0.15～0.18	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※旧塗膜の劣化、素地劣化が顕著な場合、KFマイルドシーラーⅡまたはカチオンシーラーを増し塗りし下地補強を行ってください。						
■外壁 クリヤー仕様 (窯業サイディングボードの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥がれ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンバインダー-SiⅡ クリヤー	1	0.15～0.18	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	Dura Techs クリヤー(無機のみ)	1	0.15～0.18	塗料用シンナーA 0～10%	最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは予めテープテスト等の施工判断のもと行って下さい。※白化現象防止の為、硬化乾燥までの養生期間を十分に確保ください。						

屋根 スレート・金属系塗装仕様						
■屋根 窯業系標準仕様1 (スレート屋根などの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥がれ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	KFマイルドシーラーⅡ	1～2	0.15～0.23	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	Dura Techs Roof Da Vinci Coat Roof	2	0.15～0.18	塗料用シンナーA 0～20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※素地劣化が進んだスレート屋根は、吸込みが止まるまでKFマイルドシーラーⅡ、セミフロンルーフバインダー-SiⅡまたは汎用シーラーの塗回数を増やして下さい。						
■屋根遮熱 窯業系標準仕様2 (スレート屋根などの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥がれ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗:高遮熱	セミフロンルーフ バインダー-SiⅡ(白)	1～2	0.15～0.23	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
下塗:標準遮熱	KFマイルドシーラーⅡ	1～2	0.15～0.23	塗料用シンナーA 0～10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	Dura Techs Roof 遮熱 Da Vinci Coat Roof 遮熱	2	0.15～0.18	塗料用シンナーA 0～20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※素地劣化が進んだスレート屋根は、吸込みが止まるまで「高遮熱の場合：セミフロンルーフバインダー-SiⅡ / 標準遮熱の場合：KFマイルドシーラーⅡ」の塗回数を増やして下さい。						
■屋根標準/遮熱 金属面 標準仕様 (鋼板、トタン、鉄部などの塗替え)						
工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で錆や剥がれ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンエポプライマーⅡ	1	0.12～0.18	塗料用シンナーA 0～5%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗:標準	Dura Techs Roof Da Vinci Coat Roof	2	0.12～0.18	塗料用シンナーA 0～20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
上塗:遮熱	Dura Techs Roof 遮熱 Da Vinci Coat Roof 遮熱	2	0.12～0.18	塗料用シンナーA 0～20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー
※暑い発錆部、エッジ部はセミフロンエポプライマーⅡまたは汎用錆止め材を増し塗りして下さい。						



一級建築士事務所
ACADEMEIA
Architects & Engineers

【東京本社】
東京都新宿区西新宿 6 - 1 5 - 1 セントラルパークタワー2719
TEL. 03-6864-0081 FAX. 03-5322-3662

【藤沢支社】
神奈川県藤沢市長後1279 ACADEMEIA湘南ビル
TEL. 0466-41-4551 FAX. 0466-41-4552



https://toso110.com/

■受託製造元 Kfケミカル株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング9F

本カタログの内容は予告なく変更する場合がございます。予めご了承下さい。



MANUFACTURED BY KFCHEMICAL CO.,LTD.

PRODUCED BY ACADEMEIA 一級建築士事務所

デュラテックス
無機塗料

DURATECHS
DURATECHS ROOF

ダ・ヴィンチ コート
DA VINCI COAT 4フッ化フッ素樹脂塗料

DA VINCI COAT ROOF

ダ・ヴィンチ コート外壁用

DA VINCI COAT 4フッ化フッ素樹脂塗料

DA VINCI COAT ROOF

ダ・ヴィンチ コート屋根用

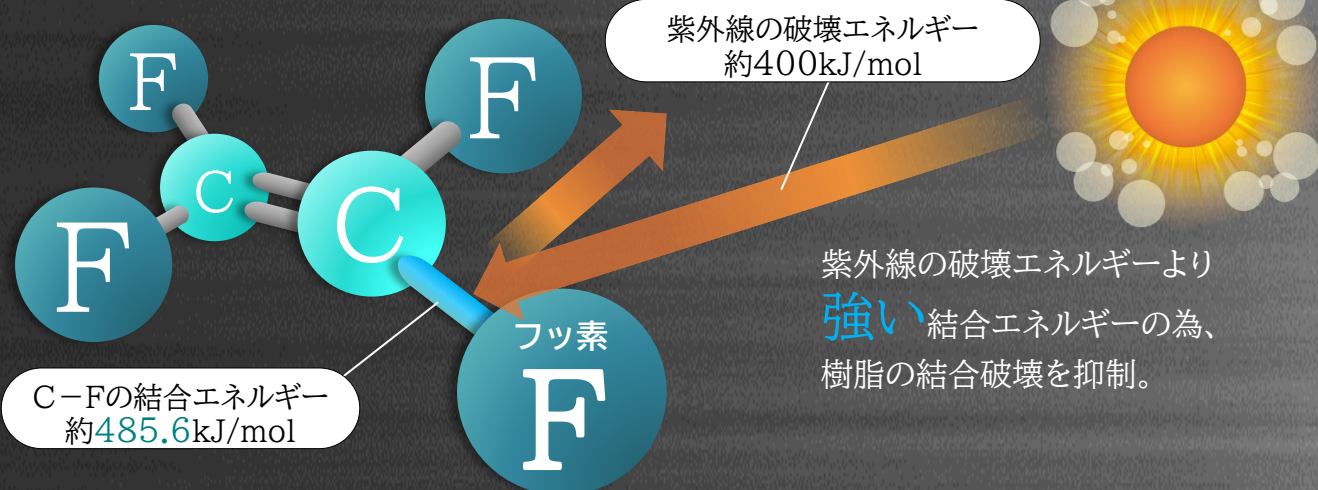


期待耐候年数

21年以上

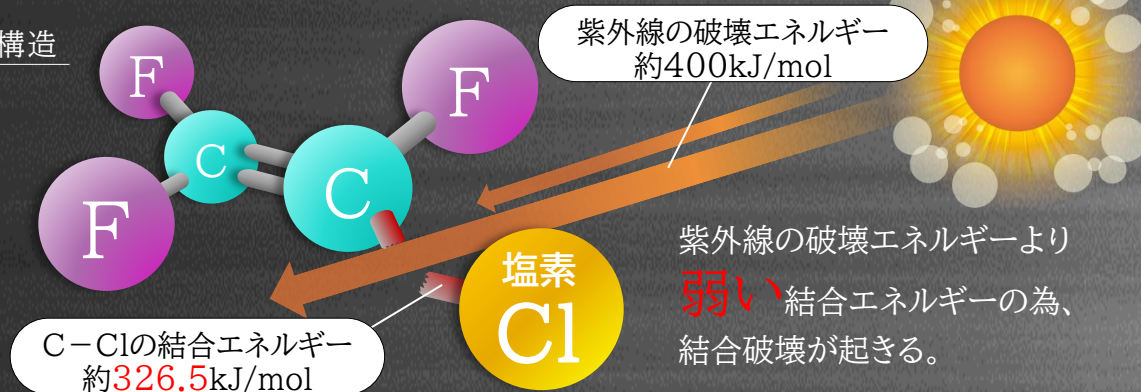
※目安であり、気象・立地条件によって前後します。

4フッ化フッ素樹脂とは



塗料の一番の大敵は紫外線です。
そこで、紫外線によって分子結合破壊されないよう非常に強い結合を持つフッ素樹脂塗料が開発されました。
従来のフッ素樹脂塗料は塗料製造過程で完全なフッ素でなく塩素(Cl)が含まれてしまう、3フッ化フッ素までが限界でした。
しかし、本当に強いフッ素樹脂塗料を追い求め、ついにDA VINCI COATはすべてがフッ素元素から成り立つ
従来の耐候性を圧倒的に凌駕する4フッ化フッ素樹脂の採用に成功しました。

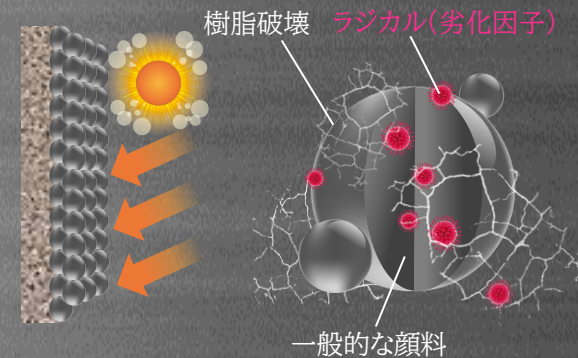
3フッ化フッ素樹脂構造



ラジカル制御特殊高耐候顔料を採用

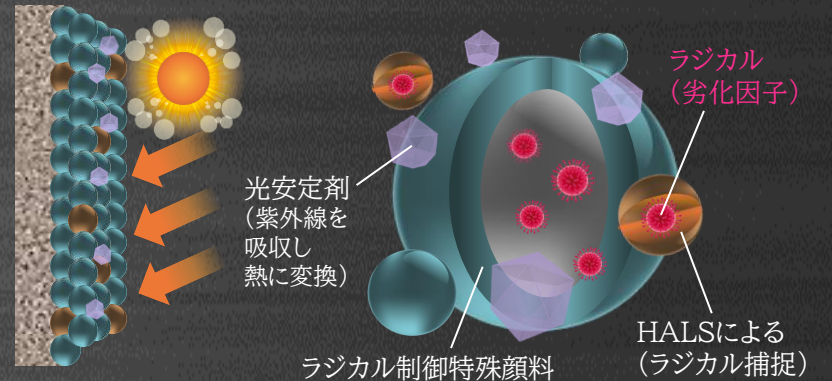
一般的な塗料の顔料

ラジカル(劣化因子)が発生し、塗膜を内側から破壊します。



DA VINCI COATのラジカル制御特殊顔料

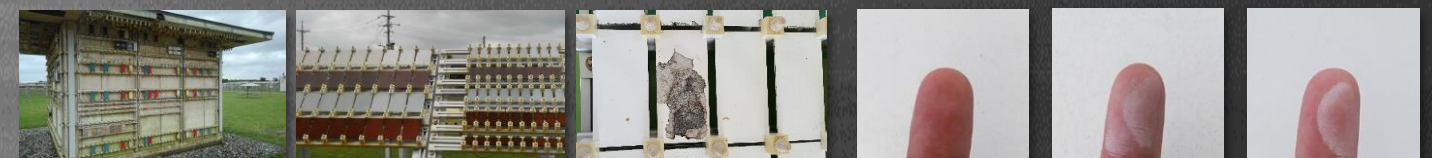
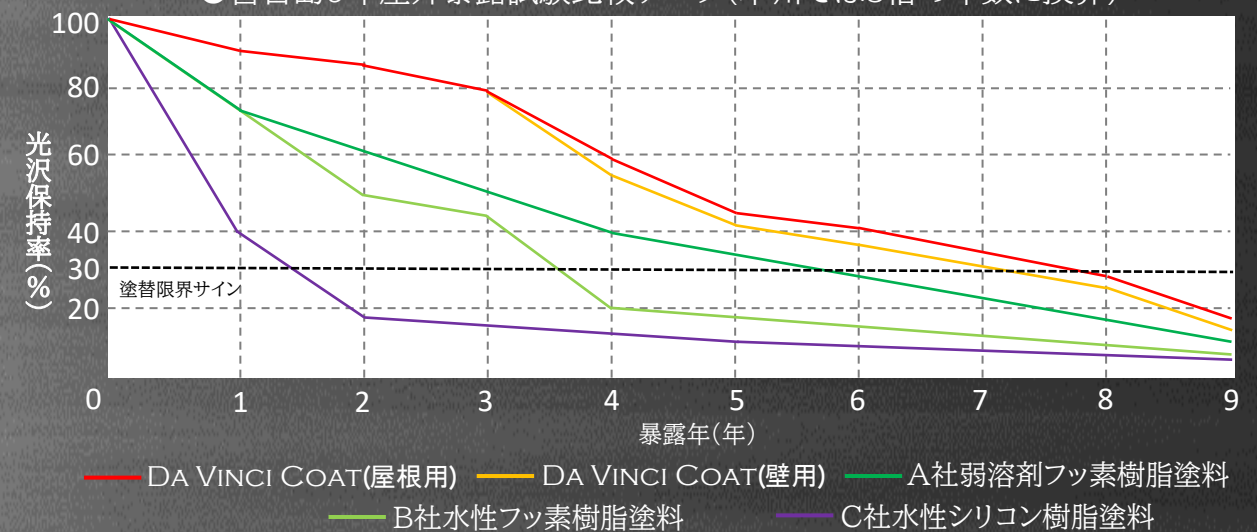
ラジカル(劣化因子)の発生を抑制し、わずかに発生したラジカルもHALS(ラジカルキャッチャー)が捕捉します。



沖縄県宮古島の第三者試験機関で確かな性能を検証済

本州の3倍以上の促進率を持ち、日本一過酷な環境と言われる沖縄県宮古島で実証実験を行っている、DA VINCI COAT。強い紫外線、雨風に野ざらしの状態でも9年が経過した今でも高い光沢値と低い白亜化度が測定されており、真に優れた塗料であることが実証されております。

●宮古島9年屋外暴露試験比較データ(本州では3倍の年数に換算)



宮古島塗料暴露試験場(日本ウェザリングテストセンター)

DA VINCI COAT A社フッ素塗料 B社フッ素塗料

低汚染性能・防カビ性能・防藻性能・柔軟塗膜性能を確保

●雨筋汚染性能比較試験



DA VINCI COAT 他社汎用塗料

●防カビ性能比較試験



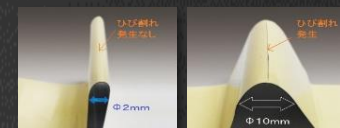
DA VINCI COAT 他社汎用塗料

●防藻性能比較試験



DA VINCI COAT 他社汎用塗料

●柔軟塗膜性能比較試験



DA VINCI COAT 他社汎用塗料

夏の強い日射しを遮る遮熱タイプ(オプション)



DA VINCI COAT



一般塗料

従来の遮熱塗料と比べ、耐候性・遮熱性に優れ表面温度で約10~15℃下回るシステムを採用しております。
(※気象条件・塗装色にもより温度差がでます。)

古民家再生から劇場設計まで
建築物を構造から考え、

一級建築士事務所

新築品質で、

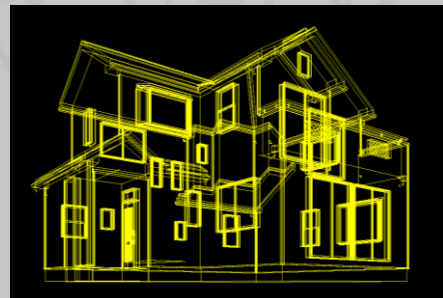
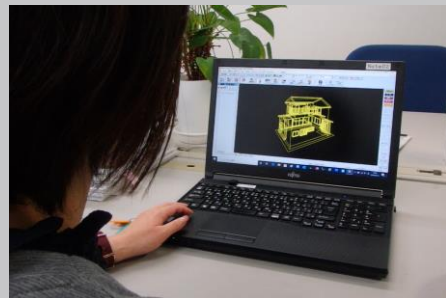
手掛ける。
建物の特性を熟知する。

だからできる**ご提案**から**監理**まで
絶対安心のリフォームを。

専用CADによる「正確な塗布面積」と「必要缶数」の算定

塗料は正しく塗り終えて初めて性能を発揮します。そのためには塗布面積が正確であることが塗料性能発揮の上で必須条件です。

正確な塗布面積とそれに基づく使用缶数を専用CADによって算定することにより最高品質の施工が実現します。



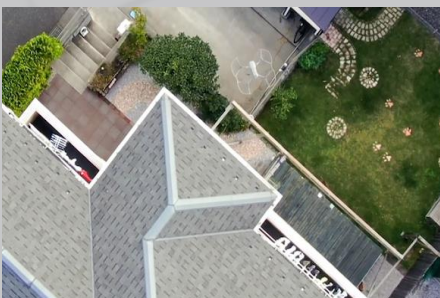
「国家資格」を有する特別な職人だけが施工を許された最高峰塗料

超耐久性の特殊な塗料は取扱いが非常に難しく、正しい施工をしないと性能が発揮されないどころか不具合も起こりかねません。

職人の知識と技術が問われる本製品においては、国家資格を有する職人のもとでのみ施工することが許された特別な塗料です。



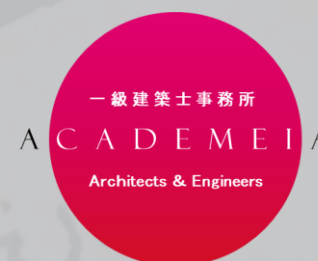
有資格者による建物診断と安心の見積設計



高品質な工事とは、施工面の材質や劣化状態に応じて塗料の種類・塗布量・施工方法の選定が必須であり、それらを記載するのが“見積書”です。工事は見積書に基づいて行われるため、その内容で工事の“質”が決まります。つまり「見積書」＝「設計書」なのです。

本塗料は有資格者による正確な「診断」とCADによる正確な「塗布面積」から導き出した“設計”からのみ最高品質の施工が提供できます。

塗料メーカー業務提携による「最高の塗料 × 最高の施工」



認定特約施工監理限定



一級建築士事務所アカデメイアは、これまでの実績審査により高い総合技術が評価され「最高級無機フッ素塗料メーカーKFケミカル」の特約施工店として業務提携しました。これにより塗料業界No.1である“最高の塗料”を“最高の診断”“最高の設計”“最高の職人”による施工を特約施工店ならではの価格にてご提供することが可能になりました。